令和元年度 農業農村整備事業事業 再評価調書

事 業 名	国営附帯県営農地防災事業	ふりがな 地区･路線名	なかがわ ひらじま 那賀川・平島地区
事業主体	徳島県	関係市町村	阿南市

<table>
<tr><td>事業概要</td><td>（事業目的）
　本地区は、県南東部に位置する低平水田地帯であり、水稲を中心とした優良農業地帯であるが、近年の都市化・混住化に伴う、地区内用水路への生活雑排水の流入により、農業用水の水質が悪化してきている。また、本用水路は老朽化が著しく、流下能力が低下しており、水路内の土砂堆積や生活排水等の滞留が発生し、水稲等の栽培に支障をきたしている。
　このため、用水路の通水機能を回復し、農業用水の水質保全対策を行うことで、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図る。

（事業内容）
受益面積　341.4ha
受益戸数　3,880戸
主要工事　幹線水路工　5.4km
総事業費　1,098,800千円（国55%、県35%、市10%）
工　　期　平成27年度～令和３年度</td></tr>
<tr><td rowspan="7">評価項目</td><td>（事業の進捗状況）
　平成30年度までに幹線水路2.5kmの整備が完了している。
　令和元年度末の事業費進捗率は38%である。</td></tr>
<tr><td>（関連事業の進捗状況）
・国営総合農地防災事業 那賀川地区（H8～R3） R元末進捗率 87.2%
　頭首工１箇所、幹線用水路16.2km、支線用水路1.8km</td></tr>
<tr><td>（社会経済情勢の変化）
　計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化はないが、本事業による農業用水の水質保全対策により，農業生産の維持及び農業経営の安定化を図る。</td></tr>
<tr><td>（計画上重要な部分の変更の必要性の有無）
　特になし。</td></tr>
<tr><td>（費用対効果の分析）
　用水施設が新設又は更新整備されることにより、水質汚濁の未然防止及び現況施設の機能維持が図られ、作物生産量増加、営農経費軽減等の効果が見込まれる。

　総費用総便益比＝総便益（現在価値化）／総費用（現在価値化）＝1.56</td></tr>
<tr><td>（受益農家、関係機関の意向）
　安定した営農の確立のため，地元農家や阿南市からは事業の早期完成を強く要望されている。</td></tr>
<tr><td>（事業の実施方針）
　継続して事業を実施する。</td></tr>
</table>